

# 特集 令和4年度当初予算

東近江市議会3月定例会で、小椋市長が令和4年度の基本方針や施策を示しました。



新たな地域商品券を発行します。

農業振興策では、魅力があり稼げる強い農業の実現に向け、収益性の高い野菜への転換・拡大に対する支援をはじめ、新規就農者への総合的サポートや集落営農の活性化などに取り組みます。

## 魅力ある東近江市の創生

令和4年度は、第2次東近江市総合計画後期基本計画の初年度であり、これまでの成果と課題を十分検証した上で、強く豊かな東近江市の創生に向け、効果的かつ独自性の高い施策をさらに推進します。

重点的に取り組む施策を第2期東近江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの柱に沿って紹介します。

## 活力ある東近江市の創生

新たな企業の進出や既存企業の規模拡大を支援し、地域産業の振興と雇用を図るとともに定住の促進に努めます。また、市内事業所や店舗での消費を促し、地域経済の活性化を図るため、

本市の豊かな自然資源や奥深い歴史文化、産業にさらに磨きをかけ、地域資源のブランド化に取り組みます。今年、聖徳太子の薨去1400年の節目を迎えることから、聖徳太子にゆかりのある社寺と連携した事業を実施するほか、エコツーリズムの推進、四季折々のイベントの開催や誘致など、本市への誘客に取り組みます。

また、地球温暖化対策にもつながる森林資源の活用に向け、森

の文化、山の文化を継承し、情報発信する施設整備を検討します。

## 夢のある東近江市の創生

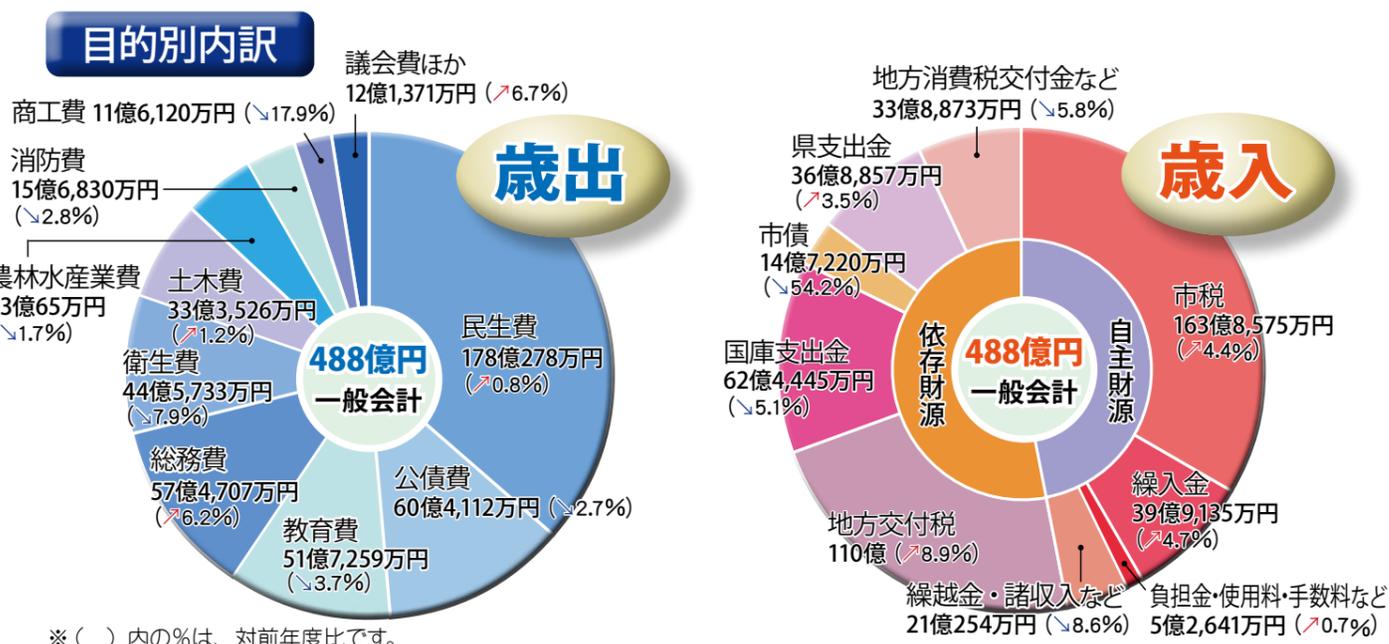
不妊治療や不育症治療に臨む人を支援するとともに、産後に心身の不調や育児不安を抱える母親の身体的回復と心理的な安定を図るなど、母子とその家族が健やかな育児を行えるよう支援を行います。

また、幼児期の里山保育の推進や小中学校教育では、学ぶ力を育み、学力向上を図るための取組を進めます。

## 豊かな東近江市の創生

交通分野では、本市の飛躍に向けた期待が大きい(仮称)黒丸スマートインターチェンジの調査設計を進めます。また、暮らしに欠かせない公共交通である近江鉄道について県や沿線市町と連携して維持存続に取り組みとともに、ちよこつとバスやちよこつとタクシーをさらに便利で使いやすいものにします。

地域医療分野では、東近江圏域の関係機関が連携し、効率的で質の高い医療を提供することで、市民の皆さんが安心して医療を受けられる環境を目指します。



※( )内の%は、対前年度比です。

## 性質別内訳

項目	額
人件費	99億3,476万円
扶助費	92億2,182万円
物件費	81億9,042万円
補助費など	66億8,191万円
公債費	60億4,112万円
普通建設事業費	22億1,128万円
繰入金	46億2,531万円
積立金など	18億9,338万円

## 依存財源

国や県から割り当てられるお金

- 地方交付税  
国税の中から市へ交付されるお金
- 国庫支出金・県支出金  
特定の事業に対して国や県から支出されるお金
- 市債  
市の借金
- 地方消費税交付金など  
国から一定の割合で配分されるお金など

## 自主財源

市が自主的に確保できるお金

- 市税  
市民の皆さんや企業などからの税金
- 繰入金  
基金(貯金)を取り崩したお金
- 負担金・使用料・手数料など  
特定のサービスを受けた人が負担するお金。施設利用料など
- 繰越金・諸収入など  
前年度から繰り越されるお金や寄附金など

## 第2次東近江市総合計画後期基本計画が始まります

### 将来都市像

うるおいとにぎわいのまち東近江市

～鈴鹿から琵琶湖の恵みをいかし人が輝くまちづくり～

これからの4年間(令和4～7年度)のまちづくりの指針となる第2次東近江市総合計画後期基本計画が4月からスタートしました。

### 将来都市像の実現に向けて

鈴鹿から琵琶湖まで、それぞれの地域の個性や豊かな資源をいかしつつ、地域全体が元気でにぎわいのあふれる自立的なまちを目指します。そして、誰もが健康で明るくいいきと輝きながら暮らし「このまちで素晴らしい人生を過ごしている」と実感できるまちづくりを進めます。

### 後期基本計画での主な取組

本市の発展と住民福祉の向上につながるよう、さまざまな施策を推進します。

- 子ども 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援、待機児童解消
- 健康福祉 感染症対策の強化、地域包括ケア、生活習慣病予防の推進
- 教育 学力向上の推進、特別支援教育や外国人児童生徒の増加への対応
- 産業 もうかる農業の確立、企業立地や雇用創出による地域の活性化
- 都市設備 広域的な道路ネットワークの強化、公共交通の利用者の増加に向けた対応

市総合計画についての詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。



市ホームページ

## 会計別予算額

総合計  
797億2,362万円

- 一般会計  
まちづくりや福祉、教育など、市の全般的な事業を行う会計
- 特別会計  
保険料や使用料など特定の収入で事業を行う会計
- 企業会計  
事業収入により経営する会計

会 計	当初予算額
一般会計	488億円
国民健康保険(事業勘定)	101億5,100万円
国民健康保険(施設勘定)	2億2,400万円
後期高齢者医療	13億9,400万円
介護保険	88億6,800万円
農業集落排水事業	12億7,900万円
公設地方卸売市場	4,000万円
小 計	219億5,600万円
水道事業	30億801万円
下水道事業	53億7,567万円
病院事業	5億8,393万円
小 計	89億6,762万円
合 計	797億2,362万円

※市の予算を分かりやすくするために四捨五入しています。このため、合計額が合致しない場合があります。

## 活力ある東近江市の創生



- 八日市駅前市有地活用事業 2億4,311万円  
中心市街地のにぎわいを創出するため、近江鉄道八日市駅前に建設中の複合ビルに観光交流施設を整備するとともに、駅前広場の改良工事を行います。
- 地域商品券事業 2,439万円  
地域経済の活性化を図るため新たな地域商品券を発行し、市内の店舗や事業所での消費を喚起します。
- 水田野菜生産拡大推進事業補助 878万円  
農業所得の向上と市内産野菜の自給率向上のため、野菜の生産を拡大し、生産に取り組む農家を支援します。
- 新規就農者経営発展支援事業補助金 628万円  
50歳未満の認定新規就農者を対象に経営開始資金および施設整備などに係る資金を支援します。

## 夢のある東近江市の創生

- 見守りおむつ宅配便 2,609万円  
満1歳未満の乳児を養育する家庭に対するおむつなどの宅配と声かけ・見守りにより、安心して子どもを産み育て、健やかに育つようにまち全体で応援します。
- 妊娠・産後のサポート 1,063万円  
不妊治療・不育症治療費の助成、心身の不調や育児不安を抱える母親の支援のほか、多胎妊産婦などへのサポートを行います。
- 里山保育の推進 280万円  
幼少期から身近な自然に触れ、楽しむことを通じて地域への愛着心を育むことを目的に里山保育を実施します。
- 学力向上対策 2億2,851万円  
子どもたちの学ぶ力を育み、基礎的・基本的な知識および技能を確実に習得するとともに、子どもたちの主体的な学習態度を育成します。

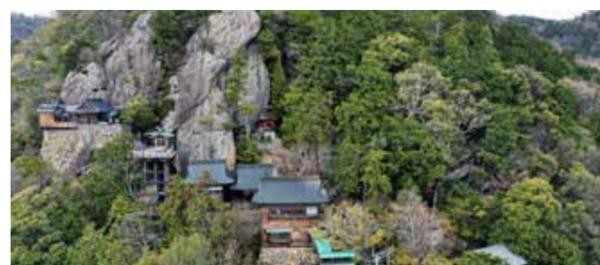


## 新型コロナウイルス感染症対策



■ ワクチン接種事業、保育・教育施設などにおける感染症対策、事業者支援など 6億7,621万円

## 魅力ある東近江市の創生



- スポーツ施設整備 1億7,462万円  
● 主な整備箇所 湖東スタジアム、<sup>きぬがさ</sup>織公園ほか

- 観光イベント実施事業 922万円  
近江の聖徳太子魅力発信事業を実施するほか、四季折々のイベント開催の支援とイベント誘致による誘客に取り組みます。
- 医療ツーリズムの推進 300万円  
インバウンド需要の回復を見据え、市内の医療機関が提供する高度な医療を求めて来日した患者やその家族を市内に誘導するためのニーズ調査などに取り組みます。
- 森の文化情報発信施設の検討 1,125万円  
鈴鹿の自然や森の文化を継承し、情報発信する施設整備に向け、施設のコンセプトやその立地を検討する基本設計を行います。

## 豊かな東近江市の創生

- 近江鉄道の維持存続 1億4,300万円  
将来にわたって近江鉄道線を維持存続していくために県や沿線市町と協議を進めます。また、近江鉄道線に係る施設への設備投資や維持修繕の費用などについて、県や沿線市町と共同で負担します。
- (仮称)黒丸スマートIC設置推進事業 3,554万円  
名神高速道路黒丸パーキングエリアに接続するスマートインターチェンジの詳細な調査設計を進めます。
- コミュニティバスなどの利用促進・利便性向上 2億3,208万円  
市街地を循環するちよこつとバスの新路線やちよこつとタクシーで移動できるエリアを拡大するほか、バス利用者がスマートフォンやパソコンを通してバスの運行状況などが分かるバスロケーションシステムを導入します。
- 道路整備 6億3,484万円  
● 主な整備箇所 <sup>みづくり</sup>【市道】能登川北部線、箕作山線、桜川石塔線ほか 【街路】小今建部上中線(聖徳工区)、中学校線(垣見工区)

